

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランⅡ（案）の概要

本プラン策定の趣旨・目的

本市では、まちづくりの最上位計画として、平成26年度から10年間を計画期間とした「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを策定し、目指すべきまちの将来像として、「安心とにぎわい みんなにわたる日本一のコンパクトシティ蕨」を掲げています。

この「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを着実に進めていくためには、行政改革を進めるとともに、歴史・文化、コミュニティの豊かさと利便性の高さをあわせ持つ「コンパクトシティ蕨」の魅力を最大限に活かしながら、市民と行政が一体となって市を運営していくための戦略を掲げ、推進していく必要があります。市は平成27年に「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランを策定しました。

この「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランが本年度で計画期間が満了することから、市を取り巻く諸情勢の変化に対応した新たな行政改革プランとして、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランⅡを策定するものです。

本プランの計画期間

計画期間は、令和2年度から、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの計画期間である令和5年度までの4年間とします。

本プラン策定の視点

将来ビジョンのまちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」を取り組みの基本姿勢とし、「協働の更なる推進」「職員力・組織力の更なる向上」「自律した行財政運営」の3つを経営戦略の柱として継続して位置づけながら、社会経済情勢等の変化に対応した内容に見直します。

本プランの推進項目

1. 協働の更なる推進

○市民参画・協働にかかる制度の効果的な運用

- ・協働事業提案制度を活かしたまちづくりの推進
- ・市民参画制度の効果的な運用

○多様な主体との協働によるまちづくりの推進

- ・地域力を活かした住み良いまちへの取り組み支援
- ・協定等に基づく民間事業者等との連携の充実・強化
- ・民間との連携による施設の整備・事業の運営
- ・関係機関との連携による空き店舗対策の推進
- ・多文化共生のまちづくりの推進

○地域資源の活用とまちの魅力の発信

- ・ 蔵ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開
- ・ 誰もが利用しやすくまちの魅力を発信するホームページの提供

2. 職員力・組織力の更なる向上

○職員力の発揮

- ・ 有用な人材の確保と育成
- ・ 健康で元気に働く職員・職場づくりの推進
- ・ 公務員制度の改正に対応した人事管理の見直し

○時代に即した組織と業務運営

- ・ 効率的・効果的な組織運営と定員管理
- ・ 職員提案制度の活用
- ・ 窓口機能等の利便性の向上
- ・ A I ・ R P A 等の I C T 活用による業務効率化

3. 自律した行財政運営

○財源の確保

- ・ 市税等の収納率の更なる向上
- ・ 定住促進による税収の安定的確保
- ・ 国民健康保険税の見直し
- ・ その他財源の確保

○効率的・効果的な事務事業

- ・ 新たな民間活力の導入と民間委託等の更なる推進
- ・ 行政評価制度の適正な運用
- ・ その他事務事業等の見直し

○将来に負担を先送りしない財政運営

- ・ 土地開発公社経営健全化の計画的な推進